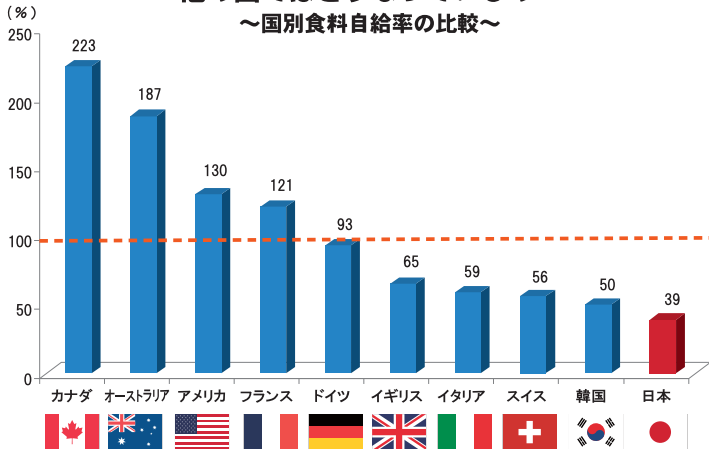


他の国ではどうなっているの？ ～国別食料自給率の比較～

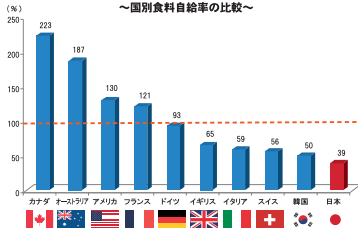


【ねらい】

他の先進国に比べて極めて低い日本の食料自給率の現状を理解させるとともに、その結果として、大量の輸入食材の長距離輸送により、大量の化石燃料が使用されていること、ひいては二酸化炭素の排出や地球の気温上昇に繋がっていることを示すことにより、地産地消や地球環境負荷の低減のための取り組みへの理解を深めます。

他の国ではどうなっているの?

～国別食料自給率の比較～



【資料解説】

このグラフは、平成21年の諸外国のカロリーベースの食料自給率（ただし、日本は平成23年度）をFAO（Food Balance Sheets）等のデータを使って農林水産省が試算したものです。

これを見ると、**カナダ、オーストラリア、アメリカ、フランス**といった農業大国で100%を大きく超え、輸出超過となっています。

また、ドイツ、イギリスといった従来自給率が100%をかなり下回り、日本よりも低かった西欧諸国では、食料自給率を20世紀末にかけて向上させていました（ドイツは100%、イギリスは80%近く）が、再度低下傾向にあります。（ただし、ドイツについては、ここ数年上昇傾向にあり、平成21年は93%となっています。）

これに対して、**日本や韓国は食料自給率が一貫して低下傾向にあり、先進国中最低レベル**となっています。韓国は日本より20%ポイント高い自給率で推移していましたが、1990年代頃からだんだん差が縮小し、2000年代に入ってから10%ポイント以下の差となっていました。ただし、平成21年には50%と若干上昇し、差が広がりつつあります。

参考：農林水産省ホームページ

【関連する各教科の学習内容】

	中3	中4	中5	中6	中1	中2	中3
社会			我が国の産業 や水産業	世界の中心 日本	【地理】 ○世界の比べた日本の地域的特 色(資源・エネルギーと産業)		【生物】 ○よりよい社会を目指して
理科							○自然環境の保全と科学技術の活用
技術・家庭(家庭)							○食料の生産環境と生産条件 ○食料の生産に関する技術の活用(機械・活用)
家庭							○世界の食料と環境の課題 ○世界の食料と環境の文化
技術・家庭(家庭)							○家庭生活と環境